

令和 7 年度における施策推進方針（県北広域振興局）

施策推進方針	いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題等
◆ 令和 7 年度振興施策における重点化の視点 ・ 県北地域の現状と課題を踏まえ、人口減少対策を中心としたメリハリのある事業を展開 ・ 市町村要望、地域課題分析型少子化対策支援事業において提案された取組、いわて女性の活躍促進連携会議 女性の就業促進部会の提案書等の趣旨等を反映させた施策を推進 ・ 小規模自治体に寄り添う伴走型支援の取組を推進	1 人口減少対策の強化・推進 ＜社会減・自然減＞ ＜社会減対策＞ (1) キャリア教育の充実及びU・I ターンの推進 [広域・地経費、一部新規] (2) 広域的な移住定住の推進及び情報発信の強化 [広域、継続] (3) 地域おこし協力隊などの移住者の定着支援 [広域、一部新規] (4) 交流人口・関係人口の拡大に向けた広域観光等の推進 [広域、一部新規] ＜自然減対策＞ (1) 子育て支援・結婚支援 [本庁事業・地経費、継続] (2) ジェンダーギャップの解消と女性や若者の働きやすい職場環境づくりの支援 [広域、継続]
いわての子 みんなでつくる大きなゆりかご ◆ 地域振興プランにおける振興施策の基本方向 ＜目指すべき姿＞ 多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域 ＜振興施策の基本方向＞ - I 隣接する圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域 - II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域 - III 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域	2 市町村への伴走支援 ・ R 6 の久慈地域に引き続き、二戸地域において「地域課題分析型少子化対策支援事業（本庁事業）」を実施 [本庁事業、継続] ・ 久慈地域では、昨年度事業の検討成果を踏まえ、人口減少対策や地域ごとの課題に対する解決策に関する市町村職員ワークショップを行い、対策の事業化に向けた伴走支援を実施 [地経費、新規] 3 地域振興プランの推進 振興施策の 3 つの基本方向と 14 の重点施策項目による振興施策を推進。特に取り組むべき課題は次のとおり。 (1) 新品種「白銀のひかり」のブランド化 [地経費・新規] 令和 7 年産から本格デビューする「白銀のひかり」の認知度向上を図り、安定的な生産振興を推進 (2) 漁村地域における賑わいと雇用の創出、交流人口の拡大 [地経費・拡充] 久慈管内 4 市町村が広域的に連携した「海業」を推進し、地域水産物、漁場、漁業関連施設等を旅行商品として開発・情報発信を支援

いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

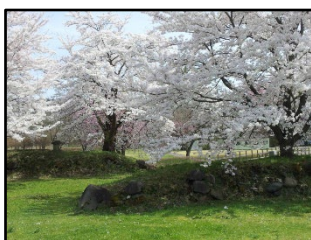
1 人口減少対策（社会減対策）

現状と課題				対応の方向性及び具体的な取組内容													
◆若者の管外転出 県北地域の子どもは、24歳までに約半数が管外に転出 (H7～11年に生まれた者の年齢別人口推移、人) <table><tr><td>人口推移</td><td>H7～H11 0～4歳</td><td>R1～R4 20～24歳</td><td>転出率</td></tr><tr><td>県北</td><td>6,135</td><td>2,795</td><td>54.4%</td></tr><tr><td>全県</td><td>62,847</td><td>43,292</td><td>31.1%</td></tr></table> (国勢調査)				人口推移	H7～H11 0～4歳	R1～R4 20～24歳	転出率	県北	6,135	2,795	54.4%	全県	62,847	43,292	31.1%	(1) キャリア教育の充実 [拡充] 児童生徒が将来的なUターンや地元就職の促進を図るため、県北管内の業種や地元企業への理解を深める取組を強化 ア <u>進学を希望する高校生向けの企業訪問ツアーやキャリア講座の実施</u> [広域、拡充] イ <u>就職を希望する高校生向けの体験実習や業種理解説明会等の実施</u> [広域・地経費、継続] ウ <u>久慈管内の中学2年生を対象に職業理解を深める「合同職業講演会キャリアオーケストラ」と、事業所等において社会体験を行う「社会体験 WEEK」の開催を支援</u> [地経費市町村事業、新規] エ <u>中学生向けの各種産業の体験学習を実施</u> [地経費、継続]  キャリアオーケストラ (地経費市町村事業)	
				人口推移	H7～H11 0～4歳	R1～R4 20～24歳	転出率										
県北	6,135	2,795	54.4%														
全県	62,847	43,292	31.1%														
(2) 若者の職場定着及びU・Iターンの推進 [拡充] ア <u>早期離職の防止</u>を図り、同世代間の交流を図るため、<u>新規学卒者から3年目までの若手社員向けに人材育成セミナー・交流会</u>を実施 [広域・ゼロ予算、継続] ⇒ 交流会で把握した若手社員の意識や考え方を企業の経営層にフィードバックすることで、各企業における<u>職場環境づくりや待遇改善の取組</u>を促進 イ <u>管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援、アパレル産業の理解促進と認知度向上に向けた教育機関との連携強化</u> [広域・地経費、継続] ウ <u>U・Iターン者の積極的な受入れを行っている林業事業体等との情報交換及び岩手県林業労働対策基金等を活用した求職者とのマッチング及び就職説明会（森林の仕事ガイダンス等）への参加を支援</u> [地経費、新規]																	
◆若者の高い離職率 県北地域に就職した高校生の2割から3割は3年以内に離職 (高校卒業後3年以内の離職率) <table><tr><td>県北</td><td>離職率</td></tr><tr><td>R3卒</td><td>17.6%</td></tr><tr><td>R4卒</td><td>18.6%</td></tr><tr><td>R5卒</td><td>28.6%</td></tr></table> (県北局調)				県北	離職率	R3卒	17.6%	R4卒	18.6%	R5卒	28.6%						
県北	離職率																
R3卒	17.6%																
R4卒	18.6%																
R5卒	28.6%																

1 人口減少対策（社会減対策）

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容																
◆市町村と連携した移住定住 県北地域では、転出超過が恒常化していることから、移住者や関係人口・交流人口拡大に向けた取組が急務 (県北地域の社会増減) (人) <table><tr><th></th><th>転入</th><th>転出</th><th>増減</th></tr><tr><td>R3</td><td>2,020</td><td>2,989</td><td>△969</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,173</td><td>3,032</td><td>△859</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,018</td><td>2,760</td><td>△742</td></tr></table> (人口移動報告年報)  広域移住体験ツアー（二戸） ◆地域おこし協力隊の定着 県北8市町村には、令和6年度末時点で56名の現役隊員が着任しており、令和7年度末で25名の任期修了が見込まれているため、卒業後の活動や定着への支援が必要		転入	転出	増減	R3	2,020	2,989	△969	R4	2,173	3,032	△859	R5	2,018	2,760	△742	(3) 広域的な移住定住の推進及び情報発信の強化 [拡充] 県と市町村で構成する「<u>県北地域移住定住推進プロジェクトチーム</u>」において、広域的な移住定住の取組を推進し、具体的に移住やUターンを検討している者に対し訴求する取組を実施するとともに、県北地域への興味や関心を高める情報発信を強化 ア <u>複数の市町村を巡り、県北地域を体感できる広域移住体験ツアー</u> [広域、拡充] ・ 久慈地域及び二戸地域において、先輩移住者や暮らし、地域の魅力を体感するバスツアーを実施 ・ 参加者及び選外者に対する<u>北いわて情報の継続的な情報発信</u> イ ふるさと回帰フェアなどの移住イベントでの北いわてブースの設置 [広域、継続] ウ 移住希望者へ「<u>北いわての暮らしや魅力</u>」を具体的にイメージできるガイドマップを作成し、県北局ホームページやSNS上での情報発信を強化 [地経費、拡充] エ 移住定住の取組に係る県・市町村職員企画力向上研修会の開催 [広域、継続]  広域移住体験ツアー（久慈）  ガイドマップ（イメージ） (4) 地域おこし協力隊等の移住者定着支援 [拡充] 地域おこし協力隊の定着を支援するため、<u>任期後の進路を見据えたフォローアップ研修</u>を充実するとともに、地域住民の隊員活動への理解を深めるための活動報告会等を実施 [広域、拡充]
	転入	転出	増減														
R3	2,020	2,989	△969														
R4	2,173	3,032	△859														
R5	2,018	2,760	△742														

1 人口減少対策（社会減対策）

現状と課題		対応の方向性及び具体的な取組内容																																																	
◆観光入込客数の推移 県北地域の観光入込客数は、コロナウィルス感染症前の客数を回復 (観光入込客数、万人・回) <table><tr><td></td><td>全県</td><td>県北</td></tr><tr><td>R1</td><td>2,921.3</td><td>267.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,687.9</td><td>169.2</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,560.1</td><td>174.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>1,833.3</td><td>204.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,385.8</td><td>282.2</td></tr></table> (岩手県観光統計概要) (県北圏域の外国人観光入込客数、人・回) <table><tr><td></td><td>アジア</td><td>北米</td><td>欧州</td><td>その他</td></tr><tr><td>R1</td><td>1,547</td><td>1,336</td><td>60</td><td>305</td></tr><tr><td>R2</td><td>314</td><td>1,331</td><td>4</td><td>91</td></tr><tr><td>R3</td><td>96</td><td>181</td><td>3</td><td>456</td></tr><tr><td>R4</td><td>61</td><td>1,202</td><td>12</td><td>42</td></tr><tr><td>R5</td><td>560</td><td>1,945</td><td>68</td><td>311</td></tr></table> (岩手県観光統計概要)  九戸城跡			全県	県北	R1	2,921.3	267.0	R2	1,687.9	169.2	R3	1,560.1	174.7	R4	1,833.3	204.5	R5	2,385.8	282.2		アジア	北米	欧州	その他	R1	1,547	1,336	60	305	R2	314	1,331	4	91	R3	96	181	3	456	R4	61	1,202	12	42	R5	560	1,945	68	311	(5) 交流人口・関係人口の拡大に向けた広域観光等の推進 [拡充] 県北地域が持つ豊かな地域資源とアクティビティを組み合わせた「北いわてアドベンチャーツーリズム」を推進するとともに、歴史的・文化的につながりの深い八戸圏域等を始めとする国内外からの誘客を図り、交流人口・関係人口を拡大 ア <u>北いわてアドベンチャーツーリズムの推進</u> [広域、拡充] ・ <u>周遊ルートの造成</u> (久慈エリア)、実証調査 ・ <u>造成コースの試験販売</u> イ <u>八戸圏域への誘客プロモーション等の強化</u> [広域、新規] ・ 鉄道を利用したツアー商品の造成 ・ 鉄道ツアー連動した「北いわての食」関連イベントの開催 ・ 八戸市の大型商業施設での北いわて物産フェアの開催 ウ 世界遺産「御所野遺跡」を核とした誘客促進、交流の拡大 [広域、拡充] ・ 一戸町との共催による縄文遺跡の体験型イベント「御所野縄文WEEK」の実施 ・ 県北地域の駅や観光施設等で配布する北いわての縄文遺跡や出土品に関する「<u>いわて縄文カード</u>」を作成・配布し、県民や縄文文化ファンに「北いわての縄文」の魅力を発信 エ 「北いわて・お城コンシェルジュ」に委嘱した久保井朝美さんの発信力等を活かした県北地域の歴史・文化資源に係る情報発信の強化 [広域、継続]  みちのく潮風トレイル (普代村)  縄文カード (イメージ)	
	全県	県北																																																	
R1	2,921.3	267.0																																																	
R2	1,687.9	169.2																																																	
R3	1,560.1	174.7																																																	
R4	1,833.3	204.5																																																	
R5	2,385.8	282.2																																																	
	アジア	北米	欧州	その他																																															
R1	1,547	1,336	60	305																																															
R2	314	1,331	4	91																																															
R3	96	181	3	456																																															
R4	61	1,202	12	42																																															
R5	560	1,945	68	311																																															

1 人口減少対策（自然減対策）

現状と課題				対応の方向性及び具体的な取組内容													
◆いわて子育てにやさしい企業等の認証数 (累計、R7.3.31) <table><tr><td>認証数</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>県北</td><td>27社</td><td>29社</td><td>31社</td></tr><tr><td>全県</td><td>295社</td><td>329社</td><td>369社</td></tr></table>				認証数	R4	R5	R6	県北	27社	29社	31社	全県	295社	329社	369社	(6) 子育て支援【拡充】 子育て世代の働きやすい職場環境づくりの支援 ア 企業訪問等による「いわて子育てにやさしい企業等」の認証勧奨【継続】 イ 県北局SNSによる管内のいわて子育てにやさしい企業に認証された管内企業の紹介【新規】 ウ 企業訪問等による「いわて子育て応援の店」協賛店の登録勧奨【継続】	
認証数	R4	R5	R6														
県北	27社	29社	31社														
全県	295社	329社	369社														
◆有配偶率の減少 平成27年から令和2年までに7ポイント減少 <table><tr><td>有配偶率</td><td>H27</td><td>R2</td><td>増減</td></tr><tr><td>県北</td><td>57.6%</td><td>50.2%</td><td>△7.4%</td></tr><tr><td>全県</td><td>57.8%</td><td>49.5%</td><td>△8.3%</td></tr></table> (国勢調査)				有配偶率	H27	R2	増減	県北	57.6%	50.2%	△7.4%	全県	57.8%	49.5%	△8.3%	(7) 結婚支援 ・ 本庁の「岩手であい・幸せ応援事業」や市町村と連携し、若者のニーズに応じた多様な出会いの創出や有配偶率の向上に繋がる施策を積極的に展開【地経費、新規】 	
有配偶率	H27	R2	増減														
県北	57.6%	50.2%	△7.4%														
全県	57.8%	49.5%	△8.3%														
◆女性人口の減少 県北地域の女性人口は、令和元年と比べて約8%減少(人) <table><tr><td>女性人口</td><td>R1</td><td>R5</td><td>比率</td></tr><tr><td>県北</td><td>56,031</td><td>51,472</td><td>91.8%</td></tr><tr><td>全県</td><td>635,071</td><td>601,699</td><td>94.7%</td></tr></table> (人口移動報告年報)				女性人口	R1	R5	比率	県北	56,031	51,472	91.8%	全県	635,071	601,699	94.7%	(8) ジェンダーギャップ解消と女性や若者の働きやすい職場環境づくりの支援【拡充】 女性や若者等が働きやすい職場環境づくりの支援 ア 企業訪問等による「女性活躍認定企業」の認証勧奨【継続】 イ 県北局SNSによる女性活躍認定企業に認証された管内企業の紹介【新規】 ウ <u>ジェンダーギャップの解消及び高等教育人材確保に向けた企業の経営層向けセミナー</u>等の開催【広域、拡充】 【セミナー内容】 ・ <u>アンコンシャス・バイアスの解消(男女、世代間)</u> ・ 労働環境の改善 ・ DXの推進  企業の経営層向けセミナー	
女性人口	R1	R5	比率														
県北	56,031	51,472	91.8%														
全県	635,071	601,699	94.7%														

2 市町村人口減少対策の支援

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
◆ 地域課題分析型少子化対策支援事業の成果の活用 ア 市町村が行う地域の実情に応じた施策展開の支援 ・ 空き家対策 ・ 住宅対策 等 イ 広域での波及効果が期待される戦略的政策の検討（事業の具体化） ・ 暮らしやすさのPR ・ 若者・女性が働きたいと思える企業への変革 ・ 企業の高等教育人材の確保 等 ◆ 女性の就業促進部会の提案内容の反映 ・ 地元企業の意識改革 ・ 岩手の豊かさの情報発信 等	地域の実情に応じた少子化対策支援 [拡充] 各市町村の地域特性に応じた伴走型支援を実施 (1) R 6の久慈地域に引き続き、<u>二戸地域において「地域課題分析型少子化対策支援事業（本庁事業）」を実施</u> [継続] (2) 久慈地域では、令和6年度少子化対策支援事業の検討結果を踏まえ、<u>市町村ごとの課題を検討するワークショップを開催し、政策形成を支援するとともに、具体的な事業化に向けて、地経費の活用も含めた伴走支援を実施</u> [地経費、新規] (3) <u>空き家問題を踏まえた住宅対策</u>を講じるための民間企業等との調整、調査の実施 [地経費、新規]   市町村ワークショップ

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
I 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域	
1 多様な交流と連携 ◆ 人口の転出超過 県北地域では、人口の転出超過が恒常化しており、移住者の増加、関係人口及び交流人口の拡大に向けた取組が急務 2 文化・スポーツ振興 ◆ 「神楽」のユネスコ無形文化遺産に向けた動き 国の重要無形民俗文化財に指定されている全国38か所の「神楽」について、ユネスコ無形文化遺産の登録を目指す動きが出ており、神楽を含めた地域文化の保全と継承が重要  神楽継承・振興知事連合	移住定住等の推進 [拡充] (再掲) (1) <u>久慈地域と二戸地域の市町村を巡る広域移住体験ツアーを実施</u> [広域、拡充] R 6 事業の継続に加え、選外者を含む応募者への継続的な情報発信を強化 (2) 全国的な移住イベントでの北いわてブースの設置 [広域、継続] (3) 移住者へのPRガイドマップの作成・情報発信 [地経費、新規] (4) 県・市町村担当向けの移住定住に係る企画力向上研修会の開催 [広域、継続] 子どもの文化芸術体験の充実と八戸圏域との文化・スポーツ交流の促進 [継続] 地域の将来の担い手である子どもたちが、文化芸術やスポーツに触れ、参加する機会を提供することで、伝統芸能などの次世代への継承を支援するとともに、隣接する八戸圏域との文化芸術・スポーツを通じた多様な交流を支援 (1) <u>神楽などの民俗芸能・文化芸術の子ども向け体験イベント等の開催</u> [地経費、継続] (2) <u>北緯40° ナニャトヤラ連邦会議の枠組みを利用した県北圏域と八戸圏域の子ども向けのスポーツ交流教室を開催</u> [地経費、継続]  国重要無形民俗文化財「鶴鳥神楽」   八戸圏域とのスポーツ交流 (バスケ)

3 地域振興プラン

現状と課題		対応の方向性及び具体的な取組内容		
Ⅰ 隣接圏域とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域				
3 保健・医療		自殺対策の推進 【拡充】		
◆ 県平均を上回る自殺死亡率 二戸保健所管内の令和元年から令和5年までの平均自殺死亡率は県平均を超過（二戸27.1、全県19.8）		令和6年度に九戸村で実施している県保健所・市町村・ボランティア等が連携した自殺対策の取組を軽米町にも拡大 【地経費、拡充】		
		 こころの健康づくり講座（ゲートキーパー養成講座）		
		 成人病を予防する食生活講座		
4 介護・福祉		(1) 子育て支援 【拡充】（再掲）		
◆いわて子育てにやさしい企業等の認証数（再掲）（累計、R7.3.31）		子育て世代の働きやすい職場環境づくりの支援		
認証数		R4	R5	R6
県北		27社	29社	31社
全県		295社	329社	369社
		ア 企業訪問等による「いわて子育てにやさしい企業等」の認証勧奨 【継続】		
		イ 県北局SNSによる管内のいわて子育てにやさしい企業に認証された管内企業の紹介 【新規】		
		ウ 企業訪問等による「いわて子育て応援の店」協賛店の登録勧奨 【継続】		
		(2) 女性活躍支援 【拡充】（再掲）		
		女性が働きやすい職場環境づくりの支援		
		ア 企業訪問等による「女性活躍認定企業」の認証勧奨 【継続】		
		イ 県北局SNSによる女性活躍認定企業に認証された管内企業の紹介 【新規】		

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
II 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域	
1 災害に強い社会基盤整備 ◆ 洪水・土砂災害対策の推進 激甚化する自然災害に対応する河川改修や砂防施設の整備を推進。 引き続き、ハード整備に加え、住民の安全かつ迅速な避難のためのソフト対策が重要。	(1) 洪水・土砂災害対策の推進 [継続] ア 河川改修の推進 [継続] イ 土砂災害対策施設整備の推進 [継続]
 インフラウォーキング	(2) 減災のためのソフト施策の推進 [拡充] ア 二級河川川尻川（洋野町）の水位周知河川の指定を推進 [継続] イ 久慈地域の小中高校生を対象とした津波防災出前講座の開催 [継続] ウ 防災・減災インフラの理解促進 [地経費、拡充] <u>インフラ理解促進ツアー（ウォーキング）、滝ダム等の機能広報等の取組推進</u>
	 小久慈小学校の滝ダム見学
	
◆ 洪水・土砂災害対策の推進 令和6年台風第5号による豪雨によって、県北地域でも公共土木施設に被害が発生（9件）	(3) 被災した公共土木施設の復旧の推進 [継続] 令和6年台風第5号により、被災した久慈管内の公共土木施設の令和7年度中の復旧に向けた取組を推進 [継続]
2 再生可能エネルギー 再生可能エネルギーの導入が進んでいる県北地域において、再生可能エネルギーへの住民理解の醸成と管内企業向けの経済波及効果の周知を図る取組が必要	再生可能エネルギーを生かした地域づくり [継続] 子育て世代の働きやすい職場環境づくりの支援 (1) 再生可能エネルギーに対する住民理解等の醸成 [地経費、継続] 県北圏域の親子向けの再生可能エネルギー普及啓発イベントの開催 (2) 洋上風力発電の実現に向けた支援 [地経費、継続] 久慈市商工会議所と連携した管内企業向けセミナーの開催

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域	
1 農業の振興 ◆ 先導的な担い手への支援 農業従事者減少による農業生産の減少や農村の集落維持機能の弱体化が懸念されており、スマート農業技術の導入による生産性の向上や地域で支えあう体制の構築が急務 ◆ 「白銀のひかり」が本格デビュー 令和7年産から本格的にデビューする水稻新品種「白銀のひかり」の栽培面積の拡大に向けて、消費者や生産者への認知度向上の取組や栽培指導の取組が必要  白銀のひかりの田植えPR (イメージ)	(1) スマート農業技術を活用した農業DXや農村RMOの推進 【一部新規】〔DX〕 ア スマート農業技術を活用した農業DXの推進 【地経費、新規】 - 生産管理システムの導入による経営改善の現地実証及び検討会の実施 - スマート農業の取組事例を紹介する農業DX推進研修会の開催 イ 農村RMOの先行事例の形成に向けた人材育成・支援 【地経費、新規】 - 農村RMOの中心となる地域コーディネーター育成研修を実施 - 農業者や地域住民向けのRMO取組事例研修会を開催 (2) 県オリジナル水稻新品種「白銀のひかり」の生産振興と認知度向上 【新規】 ア 「白銀のひかり」の安定生産に向けた栽培指導の強化 【地経費、新規】 - 栽培志向者及び規模拡大志向者向けの試食会の実施 - 生育状況の確認及び適期刈取り実証の支援 イ 本庁事業と連動した生産者及び消費者向けPR活動 【地経費、新規】 - 管内4市町村の小中学校における学校給食での提供 - 実需向けPRの実施 - SNSでの名称・食味PRの実施 「銀河のしずく」ゆずりの ふっくら色白、岩手の新しいお米です。 はくぎん 白銀のひかり Hakugin no Hikari 岩手県 「白銀のひかり」の特徴 生産するとき ・ 稲が倒れにくい ・ たくさんの量を収穫できる ・ 寒さにつよい たべるとき ・ 粒が大きい ・ 炊きあがりがきれい ・ おいしい 生産できる地域 ・ 県北地域全域 ・ 県中部・沿岸地域の標高240m以上の地域 

3 地域振興プラン

現状と課題

対応の方向性及び具体的な取組内容

Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域

1 農業の振興

◆ 新規野菜品目の産地化

夏季の高温化等の気候変動に対応するため、新たな技術と野菜品目による産地化の取組が必要

(久慈地区における栽培面積の推移、単位:ha)

品 目	R4	R5	R6
ピーマン	0.68	1.17	1.51
ブロッコリー	3.48	4.41	5.85

※ R6は9月末現在

◆ 県北農業研究所との連携

令和6年度、県北農業研究所内に新設された「果樹・野菜研究室」と連携した果樹等の生産振興

◆ 環境保全型農業への取組

農業の持続的発展に向け、環境負荷の低い栽培技術の導入が必要

◆ 野生鳥獣による農産物被害の増加

(農作物被害の推移、単位:千円)

	R3	R4	R5
久慈	3,119	3,940	3,329
二戸	23,132	21,165	37,989

(3) 新規野菜品目等の生産振興 [継続]

ア 新規野菜園芸品目（ピーマンやブロッコリー等）の産地形成 [地経費、継続]

・ 栽培技術先進産地研修等の開催

・ 販路拡大に向けた市場関係者意見交換及び販促会の実施（仙台地区）

イ 既存園芸品目（ほうれんそう）の販売促進 [地経費、継続]

市場からの引き合いがある寒じめほうれんそうの販促会の実施（盛岡地区）

仙台市での販促活動



(4) ブランド果実等の産地化 [継続]

ア りんご新品種の開発に向けた生産者支援 [地経費、継続]

黄色系りんごと赤系りんごの有望系統の苗木生産を支援

イ いわてカシオペアプレミアムりんご「みつきの恋」のPR支援 [地経費、継続]

大坂などの県外市場での販促会の開催及び販促リーフレットの作成

(5) 環境と調和のとれた生産体制の構築 [継続]

ア スマート農業技術を活用した環境保全型農業の推進

いわてグリーン農業アカデミー修了生への営農支援、環境保全型農業の取組支援

イ 鳥獣被害防止対策の充実

・ 集落ぐるみで取り組む被害防止対策（久慈、二戸）

・ モデル集落を1つ以上設定し、地区住民と連携した効果的な取組を推進（久慈）

・ 被害状況の把握や防護柵設置等を支援（久慈）

・ 広域捕獲の実施及び罠い罠による大量捕獲の実証（久慈）

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域	
2 林業の振興 ◆ 林業経営体の育成 県北地域の林業の持続的かつ健全な発展には、林業経営の受け皿となる経営体の育成が必要  ◆ 特用林産物の安定供給 木炭や原木乾しいたけは、生産者の高齢化が進んでおり、生産者と生産量が減少。 生漆は、苗木生産手法の確立や植栽後の保育管理技術の普及促進が必要。 ◆ 木質バイオマス燃料の安定供給 県北地域の木質バイオマス利用施設は、久慈市の熱供給事業、野田村と一戸町の木質バイオマス発電所が稼働しているが、燃料の安定供給が課題	(1) 林業経営体の育成と新規就業者の確保 [拡充] ア 意欲と能力のある林業形態の育成 ・ コスト低減等に向けた専門家の派遣研修等の実施 [継続] ・ ICT技術の導入による生産性の向上支援 [継続] イ 新規就業者の確保 [地経費、継続] 高校生を対象とした出前講座や林業機械等操作体験会の実施 ウ 就職説明会等への参加支援 [地経費、新規] U・Iターン者の積極的な受入れを行っている林業事業体等との情報交換及び岩手県林業労働対策基金等を活用した求職者とのマッチング及び就職説明会（森林の仕事ガイダンス等）への参加支援 (2) 特用林産物の生産・流通体制の強化 [拡充] ア 岩手木炭と原木しいたけの一体的な販促活動 [地経費、新規] イ 持続的な漆資源の確保及び生漆生産基盤の安定化 [地経費、一部新規] ・ 持続的な漆生産と漆産業の振興に向けた二戸地域内の漆資源量調査を実施 ・ ウルシ林所有者、市町村や森林組合等向けのウルシ林保育管理研修会の開催  (3) 地域材の利用促進 [継続] 森林伐採後の林地残材として、これまで未利用であった枝や根元部の端材等を伐採地でチップ化し、木質バイオマス燃料として供給する体制の整備（本庁）

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容												
Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域													
3 水産業の振興 ◆ 漁業の担い手不足 (県北地域の漁業経営体) <table><tr><td></td><td>H22</td><td>H27</td><td>R2</td></tr><tr><td>県北</td><td>調査不能</td><td>2,025</td><td>1,668</td></tr><tr><td>全県</td><td>調査不能</td><td>8,148</td><td>7,019</td></tr></table> ◆ アワビやウニなどの磯根資源の減少 磯焼けが発生し、アワビ資源の減少やウニの身入り低下が生じており、資源回復の取組が必要  ◆ 漁港施設や水産物を活用した所得向上 海洋環境の変化による秋サケ等の主要魚種の不漁が深刻化しており、漁業経営体の所得向上に向けた取組が必要		H22	H27	R2	県北	調査不能	2,025	1,668	全県	調査不能	8,148	7,019	(1) 漁業担い手の育成・確保 [継続] ア 中高生を対象とした漁業体験等の実施 [地経費、継続] イ 各市町村の漁業担い手育成協議会の活動を支援 (本庁) ウ いわて水産アカデミーと連携した新規漁業就業者の受入促進 (本庁) (2) アワビ・ウニ資源の回復 [新規] ア 夏季の高水温に適した餌料海藻の生産対策の検証 [地経費、新規] 県北部の海域に適したコンブの種苗選定や育成方法による藻場造成試験の実施 イ コンブに代わる高水温に強い新規餌料海藻種の導入検討 [新規] 県南部でアワビの餌料として導入が検討されているアラメ (南方系海藻種) の生育状況調査を実施  アラメ (3) 「海業」による賑わいと雇用の創出、交流人口の拡大 [拡充] 久慈管内4市町村が広域的に連携した「海業」を推進し、地域水産物、漁場、漁業関連施設等を旅行商品として開発・情報発信を支援 [地経費、継続] ア 漁業者等の経営安定化の手段の一つとして、「海業」に対する漁業者の理解醸成の取組を推進 イ 「海業」展開を見据えた魅力的なコンテンツの発掘・磨き上げ、情報発信の強化
	H22	H27	R2										
県北	調査不能	2,025	1,668										
全県	調査不能	8,148	7,019										

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域	
4 食産業とものづくり産業の振興 ◆ 恒常的な人手不足 管内高校生の9割が進学・就職のため、管外に転出。 域内での若年者の就職率が低いため、人手不足が恒常化しており、人材確保の支援が必要。 ◆ 県北地域の食産業 県北圏域は、ブローラー産業を除くと小規模・零細経営の企業が多く商品開発や販路開拓、人材育成の分野での支援が必要 ◆ 県北地域のものづくり産業 企業の経営課題に応じた制度（県北広域産業力強化促進事業費補助金等）の周知やDXの導入など管内企業における先進的な取り組みの横展開が必要	(1) 次世代を担う地域産業人材の育成 [拡充] ア 就職を希望する高校生向けの業種理解説明会や企業見学会等の実施 [広域、継続] イ 進学を希望する高校生向けの企業訪問ツアーやキャリア講座の実施 [広域、継続] ウ 管内アパレル企業へのインターンシップの受入支援、アパレル産業の理解促進と認知度向上に向けた教育機関との連携強化 [広域、継続] エ 管内アパレル産業の認知度向上及び人材確保に向けた情報発信の実施 [地経費、継続] オ 企業の若手従業員の合同学習会（ものづくり改善塾）等の取組を支援 [地経費、拡充]  ものづくり改善塾 (2) 北いわての食産業 [拡充] ア 北いわて食産業コーディネーターを配置し、各企業への伴走型支援を実施 [広域、継続] イ チキン産業の高校への出前講座、情報発信の支援 [広域、継続] ウ 販路拡大先進事例発表・SNS等活用セミナーの開催 [地経費、新規] (3) 北いわてのものづくり産業の生産性と認知度の向上 [継続] ア ものづくりネットワークコーディネーターを配置し、各企業への伴走型支援を実施 イ トヨタ式カイゼンのノウハウの導入及び定着を図り、企業の成長力向上や労働環境の改善の取組を支援 [広域、継続]

3 地域振興プラン

現状と課題	対応の方向性及び具体的な取組内容
Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し意欲を持って働ける地域	
5 観光振興 ◆ 観光入込客数の推移（再掲） 県北地域の観光入込客数は、コロナウイルス感染症前の客数を回復  北いわて・お城コンシェルジュ （久保井朝美さん） ◆ 漁港施設や水産物を活用した所得向上 海洋環境の変化による秋サケ等の主要魚種の不漁が深刻化しており、漁業経営体の所得向上に向けた取組が必要	(1) 交流人口・関係人口の拡大に向けた広域観光等の推進 〔拡充〕（再掲） ア <u>北いわてアドベンチャーツーリズムの推進</u> 〔広域、拡充〕 ・ <u>周遊ルートの造成（久慈エリア）、実証調査</u> ・ <u>造成コースの試験販売</u> イ <u>八戸圏域への誘客プロモーション等の強化</u> 〔広域・地経費、新規〕 ・ 鉄道を利用したツアー商品の造成 ・ 鉄道ツアーと連動した「北いわての食」関連イベントの開催 ・ 八戸市の大型商業施設での北いわて物産フェアの開催 ウ <u>世界遺産「御所野遺跡」を核とした誘客促進、交流の拡大</u> 〔広域、拡充〕 ・ 一戸町との共催による縄文遺跡の体験型イベント「御所野縄文WEEK」の実施 ・ 北いわての縄文遺跡や出土品に関する「いわて縄文カード」を作成・配布し、県民や縄文文化ファンに「北いわての縄文」の魅力を発信 エ <u>「北いわて・お城コンシェルジュ」に委嘱した久保井朝美さんの発信力等を活かした県北地域の歴史・文化資源に係る情報発信の強化</u> 〔広域、継続〕 ◆ 北いわて・お城コンシェルジュや県北局SNSなどを通じた情報発信の強化  (2) 「海業」による賑わいと雇用の創出、交流人口の拡大 〔拡充〕（再掲） 久慈管内4市町村が広域的に連携した「海業」を推進し、地域水産物、漁場、漁業関連施設等を旅行商品として開発・情報発信を支援 〔地経費、継続〕 ア 漁業者等の経営安定化の手段の一つとして、「海業」に対する漁業者の理解醸成の取組を推進 イ 「海業」展開を見据えた魅力的なコンテンツの発掘・磨き上げ、情報発信の強化